



前橋市自立支援協議会広報 みんなのらいいふ 第1号

発行日 平成25年8月1日

題字：黒澤 明様 (すてっぷ)
挿絵：「ピアーズ」ご利用者様

発行元：前橋市自立支援協議会
お問い合わせ先：
前橋市障害福祉課 前橋市自立支援協議会
広報啓発ワーキンググループ事務局
電話027-220-5713 Fax027-223-8856

目次：

自立支援協議会とは？	1
会長あいさつ	1
自立支援協議会のしくみ	2
文字盤から思うこと	4
ジャンプの容器	4
これなあに？	4
編集後記	4

自立支援協議会とは？

前橋市では、平成18年に施行された障害者自立支援法（現：障害者総合支援法）に基づいて、平成19年3月より定期的に自立支援協議会を開催しています。自立支援協議会では、「障害のある人が、地域で普通に暮らせる街づくり」を目指して、相談支援事業所、障害者団体代表者、医療・保健関係者などが集まり、協議を行っています。

自立支援協議会における取り組みの成果は、前橋市の障害福祉サービスの構築に大きな影響を与えます。例えば、幼稚園児や児童が利用している「医療的ケア」は自立支援協議会での協議の成果として誕生したサービスです。これは、導尿などの医療行為に対

応するため、医師の指示の基に看護師を幼稚園や学校に派遣する制度です。他にも、みなさんの日常生活の中では、自立支援協議会での取り組みの成果が生かされているものは、沢山あります。

また、各種勉強会や講演会、バリアフリー映画の上映や障害児者のサークルによるステージ発表会など、障害福祉啓発イベントも開催しています。

これからも、前橋市の障害福祉向上のため、みなさんからの声を自立支援協議会の取り組みに反映させて行きたいと考えています。ご協力をお願いします。



題字・イラスト募集

本誌に掲載する題字と季節のイラストや挿絵を募集しています。あなたの作品で本誌に彩をそえていただけませんか。詳しくは上記事務局へお気軽にお問い合わせください。

会長あいさつ

前橋市自立支援協議会会長 横澤 孝義

みなさん、「みんなのらいいふ」を手にとっていただきありがとうございます。前橋市自立支援協議会は、障害のある人が、地域で普通に暮らせるようなまちづくりをめざして活動しております。そして、障害のある人もない人も、お互いに人格と個性を尊重しあって、みんなでいっしょに生きていくという、共生の地域社会の実現をめざしています。しかしながら、この実現は一朝一夕でできるものではありません。障害福祉の関係者だけでなく、

障害者の支援にご理解をいただける多くの方々とともに、ネットワークをつくり支援の輪を広げていくことで一歩ずつ進むことができるものと思います。そのためにも、この「みんなのらいいふ」を手にとっていただいたみなさんと、まず手をつなぎ合うことが、障害のある方と共に生きるまちづくりの第一になると思います。今後とも自立支援協議会の活動にご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

前橋市自立支援協議会のしくみ

1. 組織について

《 組織図 》

前橋市自立支援協議会は、前橋市における課題の共有や、その対策協議を行う「全体会」を中心に、協議会全体の運営や方向性を決める「運営調整会議」、個別の具体的な相談事例から地域課題を分析する「個別支援会議」、本誌「みんなのらいふ」の発行や「みんなのフェスタ」の開催などを担当する「広報・啓発ワーキンググループ」、前橋市の抱える課題について専門的に対策を協議する「特定課題会議（専門部会）」から構成されます（右図参照）。

さらに、「特定課題会議」は、就労支援部会、生活支援部会、こども部会の各専門部会に別れ、必要に応じてワーキンググループを設けて具体的な解決策を専門的に協議します。

全体会（年2～3回）
委託相談支援事業所、サービス事業所、医療、教育、就労などの関係者が委員となり、前橋市としての課題を共有して対策を協議します。

運営調整会議（毎月1回）
自立支援協議会の会長、委託相談支援事業所、市障害福祉課により協議会全体の運営状況を確認し、方向性を検討します。

個別支援会議（奇数月開催）
委託相談支援事業所や保健所、社会福祉協議会などが集まり、相談事例の検討を行い、前橋市としての課題を分析します。

広報・啓発ワーキンググループ（随時開催）
委託相談支援事業所や障害福祉課により、機関紙「みんなのらいふ」の編集や発行を行います。また、障害福祉啓発活動として「みんなのフェスタ」や講演会なども企画します。

特定課題会議（専門部会）（毎月または隔月開催）
自立支援協議会の委員や障害福祉課により、前橋市における各分野の課題について整理し解決策を検討します。

就労支援部会
障害者の就労についての実践的な取り組みを検討します。

生活支援部会
障害者（障害児）が地域で安心して暮らせるシステム作りについて検討します。

療育ネットワーク推進会議（前橋市障害児等療育支援事業）

こども部会
障害児の療育を充実させるための仕組みや制度について検討します。

ワーキンググループ（随時開催）
部会で整理した課題について、具体的な解決策を専門的に検討します。



2. 構成団体について

前橋市自立支援協議会は、相談支援事業所、障害者団体代表者、障害者福祉施設・サービス事業所、医療・保健関係者等が集まり、「障害のある人が、地域で普通に暮らせる街づくり」を目指して、前橋市としての課題を発見し、共有して対策を協議しています（右図参照）。

3. 現状の課題

前橋市が抱える課題は、必要に応じて部会を開催して協議します。

【こども部会】

障害児に関わる教育・福祉・医療等の各機関が、組織的に連携し、ネットワークを構築できるよう協議を行っています。

【就労支援部会】

障害者が安定して一般就労を行えるよう、企業への働きかけを行います。また、特別支援学校高等部の生徒や保護者の皆さんへ就労に関する啓発を行います。

【生活支援部会】

障害種別により少しずつ異なる、日常生活上の問題を整理し、具体的解決策について、協議を進めます。

お気軽にご相談ください （委託相談支援事業所の紹介）

前橋市では、障害をお持ちの方やそのご家族からのご相談を受け付ける窓口を、下記表の事業所に業務委託しています。障害福祉サービスのご利用方法など、お困りのことや分からないことがあればご相談ください。

《 前橋市自立支援協議会構成団体一覧 》

選出区分	構成団体名
委託相談支援事業所	前橋市障害者生活支援センター
	相談支援事業所 ドアーズ
	あいのて相談支援事業所
	青空相談支援事業所
障害者団体関係	前橋市肢体不自由児者父母の会
	前橋市精神障害者家族会 あざみ会
	前橋市手をつなぐ育成会
	前橋市肢体障害者福祉協会
	前橋市聴覚障害者福祉協会
	前橋市視覚障害者福祉協会
	前橋市難病友の会
施設・サービス事業所	指定障害者支援施設桂荘
	らいず
	たんぼぼ学園
	ドルフィン前橋
保健・医療関係	前橋市医師会
教育関係 (学校等)	群馬大学教育学部附属特別支援学校
	前橋市教育委員会指導部 学校教育課
就労支援関係	前橋公共職業安定所
	群馬障害者職業センター
地域福祉関係	前橋市社会福祉協議会
	前橋市民生委員児童委員連絡協議会 自立支援研究委員会
学識経験者	群馬大学教育学部

《 前橋市委託相談支援事業所一覧 》

事業所名	所在地	電話番号
前橋市障害者生活支援センター	前橋市日吉町二丁目17-10	027-236-0001
地域活動支援センター ピアーズ	前橋市日輪寺町176-1	027-230-8017
相談支援事業所 ドアーズ	前橋市下大島町596-1	027-266-8826
あいのて相談支援事業所	前橋市上佐鳥町560-3	027-289-4433
青空相談支援事業所	前橋市上増田町178	027-266-2221
障がい福祉相談支援事業所 ぼっか	前橋市新前橋町16-36 新前橋ビル101号室	027-226-5272
あかぎ相談支援事業所	前橋市富士見町小沢117-7	027-289-5327

文字盤から思うこと

昨年、親しい友人をなくした。重度の障害をかかえたまま若い生涯を閉じた。彼とは、30年来の付き合いだった。彼は、寝たきりで両上下肢機能に加え言語機能も失っていたことから、彼との会話は、唯一、自分の意思で少しだけ動かせる足指を駆使して、50音等の文字盤を使用して行った。一文字ずつ足指で指すため時間はかかるが通じないことはない。慣れると最初の一文字や二文字を指したところで、言いたいことが分かるまでに上達した。彼は、ビールや日本酒をチューブで器用に飲み、自分はころあいを見て注ぐ。その間合いも大切だ。身体的な介助は必要だが、福祉のあり方等について、あれこれと論議を交わす彼とは、いつでも対等に話ができ

前橋市福祉部障害福祉課長 八木 清

たし、遠慮もしないし気も使わなかった。

福祉職のみならず「相手の立場に立って考える」とは、昔から言い古されたことである。文字盤での会話が上達したのは決して慣れたという理由だけではないと、今、思っている。彼の立場に少しでも近づこうとしていた自分がそこにあったことは確かだ。いろいろな境遇に置かれている相手の立場を理解し、寄り添うことができれば、人間としてどんなに素晴らしいことだろうか。



シャンプー容器の凸凹（ユニバーサルデザインの紹介）



「さあ、髪の毛洗うぞ！」シャワーで頭に水かけて手探りでシャンプーを探すと・・・「あれ？これシャンプーかな？リンスかな？」迷います。私は最近知ったのですが、シャンプーはボトルやキャップに凸のラ

インが入っています。「ああこれでシャンプーとリンスが区別できる。」と得した気持ちになりました。職場の同僚に話すと、「ああ、あれですね。」と、「あれ？知らなかったのは私だけ？」

このように「できるだけ多くの方が利用可能なデザイン」をユニバーサルデザインといいます。意外と身近なものの中に隠れているかもしれません。ぜひ一度、探してみてください。

これなあ～に？（便利な道具の紹介）



答えは、「フードガード」

上写真のように、市販のお皿の縁に取り付ける事ができます。お皿に「返し」の部分ができてすくい易くなり、食べ物がこぼれにくくなります。

※前橋市総合福祉会館1階に展示しています。

編集後記



ユニバーサルデザインとは何か？私は言葉では聞いていたけれど具体的にどんなものがあるのか知りませんでした。調べてみると、身近にあるあらゆる物がユニバー

サルデザインであるようです。これから皆さんと一緒に勉強しながら、面白い発見をしていきたいと思っています。宜しくお願いします。